

CASIO P

DQS-300J

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2 ☎03-5334-4111(代表)

本機の特長

- 電波時計(国内2局対応 自動選局機能付) 福島県「おたかどや山標準電波送信所」(40kHz) 佐賀県と福岡県の境 「はがね山標準電波送信所」(60kHz)
- 一度止めても再び鳴り出すスヌーズアラーム
- ライト機能
- ソーラー発電と電池を併用した長寿命
- センサーにより、温度を表示

ご使用上の注意

- 本機は精密な電子部品で構成されていますので、「極端な温度条件下」、「強い磁気の当たる場所」、「はげしい振動のある場所」での使用や保管および「強いショック」をさけてください。
- 高温では電池寿命が短くなったり故障の原因になりますので、暖房器具の近くや直射日光の当たる所では使用しないでください。
- 浴室など湿気が多い場所では使用しないでください。
- 以下のようなところに本機を置くことはお避けください。
 - ・テレビの上など(テレビ画面に色むらが起る場合があります)
 - ・時計、キャッシュカード、フロッピーディスク、プリペイドカード、カセットテープの近くなど
- 極度の静電気により誤った表示をしたり、電子部品が破損する場合があります。
- 静電気により一時的に液晶の点灯していませんが、機能に影響はありません。
- 本機を分解しますと、精度や機能が低下しますので、絶対に分解しないでください。
- 汚れは、「乾いた柔らかい布」か「中性洗剤に浸し固くしぼった布」でおふきください。シンナー・ベンジンなどの揮発油やアルコール類では絶対にふかないでください。
- 液晶表示は、使用温度範囲(0℃~40℃)を超えると、表示が見にくくなることがあります。
- 液晶表示は、見る方向によって表示が見にくくなることがあります。

<ご注意>

- 本機はソーラー発電により動作しますが、以下のような高温下に本機を設置することはお避けください。
- 炎天下に駐車中の車のダッシュボード上に放置
 - 白熱ランプなどの発熱体に極端に近づけての放置
 - 直射日光に長く当たったり、高温になるところへの放置

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。

○記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。

●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

袋をかぶって遊ばないでください

製品本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。窒息の原因となります。

電池の取り扱いについて

使用している電池を取り外した場合は、誤って電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

設置場所について

本機を不安定な場所に置いたり、不確実な掛け方をしないでください。倒れたり、落ちたりしてケガや故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

電池について

電池は使い方を誤ると液漏れによる周囲の汚損や、破裂による火災・ケガの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ・極性(⊕と⊖の向き)に注意して正しく入れてください。
- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- ・種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- ・長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておいてください。
- ・本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

電池の着脱を長く伸ばした爪で行なうと、思わぬケガをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。また、使用しないときは電池をはずしておいてください。

電波時計について

●電波時計とは

正確な時刻情報[日本標準時]をのせた長波標準電波(JJY)を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。

日本標準時：日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。

この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」等により制御されています。

電波時計は正確な日本標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のズレが生じます。

●標準電波

標準電波は独立行政法人情報通信研究機構(NICT)が運用しており、福島県の「おたかどや山標準電波送信所」(40kHz)および佐賀県と福岡県の境の「はがね山標準電波送信所」(60kHz)から送信されています。この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信中断されることもあります。

●電波の受信範囲の目安

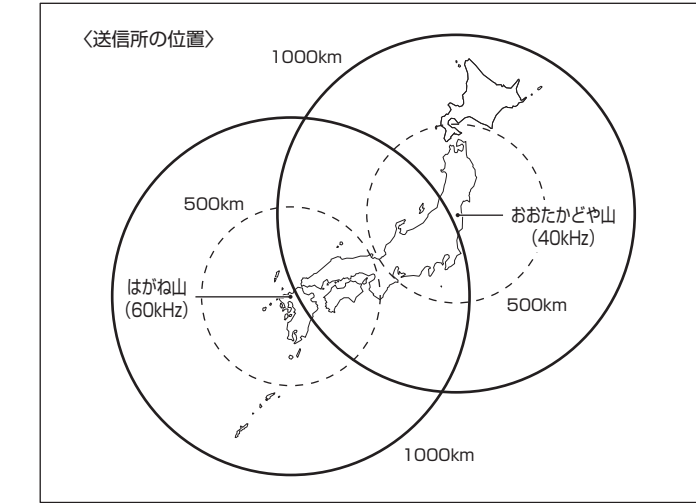
条件の良いときは、送信所からおよそ1000km離れた場所でも受信することができます。

・ただし、約500kmを超えると電波が弱くなるので、受信しにくくなることがあります。

※受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯(昼/夜)などによって受信できないことがあります。

※電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。

※一般的に送信所からの距離が近い方の電波が受信しやすいと考えられますが、電波環境や使用場所によっては、送信所からの距離が遠い方の電波が受信しやすい場合があります。



電源に関するご注意

本機の電源について

本機は以下のようなハイブリッド方式による電源システムです。

明るい場所で使用する場合・・・電池+ソーラー発電で動作します(ソーラー発電が電池を補助します)。

暗い場所で使用する場合・・・電池で動作します。

明るいとこでご使用になりますと電池を長持ちさせることができます(充電は致しません)。

※製品仕様参照

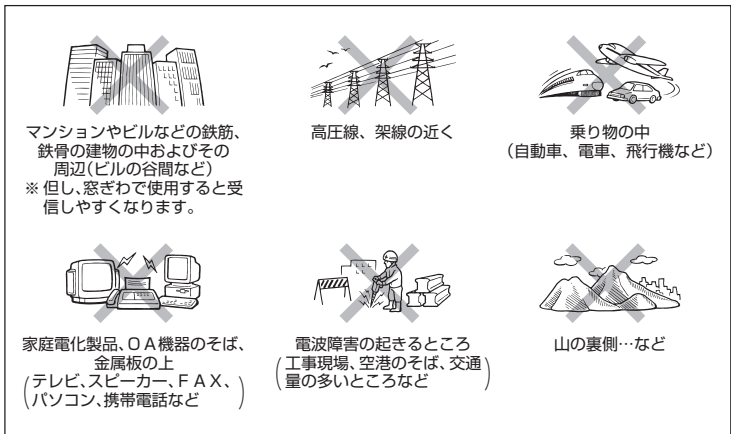
●電波受信について

本機は「おたかどや山標準電波送信所」(40kHz)と「はがね山標準電波送信所」(60kHz)の2局より受信しやすい方の電波を自動的に選択し受信を行ないます(自動選局機能)。通常は毎日、電波受信を自動的に行ないます(自動受信)。

●使用場所について

本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などでご使用することをおすすめします。

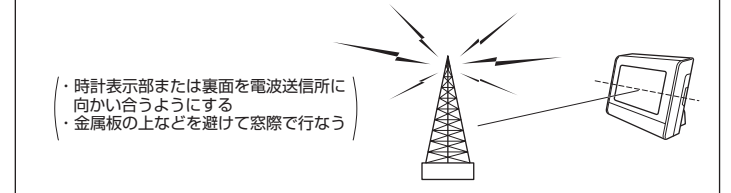
以下のような場所では、電波受信しにくくなりますので、このような場所は避けて本機をお使いください。



●正しく電波受信するために

- ・電波受信できる場所でお使いください(「使用場所について」参照)。
- ・本機を電波送信所方向に向けて、受信しやすくなります(本機に内蔵されている受信アンテナと電波送信所が垂直方向になるようにすると、最も受信しやすくなります)。

最も受信しやすい設置のしかた



- ・受信中(受信インジケータ表示中)に時計を動かしたりボタン操作をしないでください。
- ・ボタン操作で現在時刻を修正すると、以後24時間自動受信は行ないません。ただし、この間に手動受信を行なうと、その時点で解除されます。
- ・電波受信を行なわない間は、「製品仕様」記載の精度で計時します。
- ・電波障害により、誤った信号を受信することがあります。

- ・電池が消耗しますと一般的に以下のようなことが起こります。このようなときは長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください(定期的な交換をおすすめします)。→誤動作(時刻やアラーム等のリセット、報音の停止、時刻狂いなど)することがあります。
- 液晶表示は「薄くなったり」「消えたり」します。
- アナログ時計は「時計が遅れたり」「針が止まったり」します。
- ・付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- ・お買い上げ時に付属している電池はモニター用電池*のため、電池新品時の電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
- *モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
- ※電池が液漏れを起こした場合は液に触れずにすぐにふきとってください。

製品仕様

水晶発振周波数:32,768Hz

表示内容:カレンダー表示(月・日・曜日)、時刻表示(時・分・秒)、午後マーク/24時間制表示(24H)、温度表示

電波受信機能:自動受信(7回/日*)、手動受信
*午前2:01/午前3:01/午前6:01/午前10:01/午後2:01/午後6:01/午後10:01
自動選局機能
〔受信電波=長波標準電波 JJY〕
〔周波数=40kHz/60kHz〕
〔年・月・日・時・分・秒〕を受信

精度:電波受信による時刻修正が行なえない場合は、平均月差±30秒以内。

アラーム機能:セット単位=分、報音時間1分間、電子音アラーム(通常アラーム、スヌーズアラーム/全7回)、アラームモニター

温度計測機能:計測範囲=0℃~40℃*1
計測精度=±2℃(0℃~40℃)*2
※温度計測は1分に1回行ないます。*3

その他:LEDライト、12/24時間制表示切替え、コントラスト調整

主要回路素子:音叉型高性能水晶振動子、CMOS-LSI

使用温度:0℃~40℃

使用電池:円筒型リチウム電池(CR123A)

電池寿命:約5年
明るい場所(200lx以上)で1日8時間以上使用した場合(アラーム報音1分/日、ライト5秒間/日、電波受信7回/日使用した場合)

<ご注意>

*1 = ー0.1℃以下、40.1℃以上でも温度計測を行ないますが、本機の温度保証範囲外となります。

・ー20℃以下は「LO」表示、50℃以上は「HI」表示となります。

*2 = 温度表示は時計に内蔵されているセンサーにより、時計内部の温度を計測/表示するものです。そのため、急激な変化が起きても、その温度を表示するまで(時計内部がその温度と同じになるまで)約30分程度かかります。なお、計測機能上、本機を冷・暖房器具の送風口の近くで使用しないでください。

*3 = 電波受信中、時刻セット中、ライト点灯中、アラーム報音中は計測を中断します。

はじめてお使いになるときは(電池交換時をご覧ください)

「各部の名称と表示の見方」も一緒にご参照ください。

1 「表示用シール」を取り外します

機種によりデジタル表示部に「表示用シール」をつけて出荷しております。
ご使用前に必ずこの「表示用シール」を取り外してください。

2 電池を入れます

電池プタを開き、⊕ ⊖の向きに注意して、電池を正しく入れます(「電池交換のしかた」参照)。

3 リセット操作を行ないます

⑦ ボタンを押します。

デジタル表示部が「午後 12 : 00 00」になります。

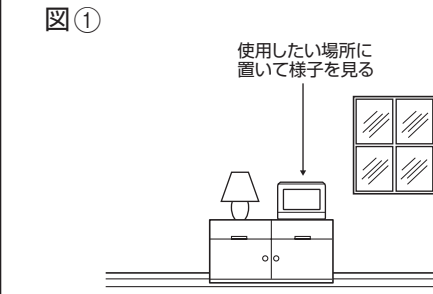
※ 先端の細いもので押しください(製品を傷つけないようご注意ください)。

※ リセット操作が終わったら電池プタを閉じます。

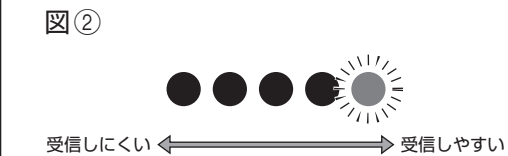
4 電波受信を行ない様子を見ます

● ⑥ ボタンを押します。

● 本機を使用したい場所に置きます(図①)。



● 置いた場所が電波受信しやすいかどうかを受信インジケータで確認します(図②)。



● 電波を受信中は受信インジケータで受信状態をお知らせします。電波を受信しやすいと多く点灯します(最大5個)(図②)。

● 受信インジケータは使用場所を決める際の目安としてお使いいただけます。

※ 1回の電波受信は約2～14分間です。
※ 電波を受信中はボタン操作をしないでください(電波受信を終了します)。

5 電波受信の結果をみます

電波の受信に成功すると「OK」マークと「☂」マークが点灯します(図③)。

図③



OK マーク・・・最新の電波の受信に成功していることを表します。

☂ マーク・・・1日1回以上、電波の受信に成功していることを表します。

● 「OK」マークと「☂」マークは正しい時刻が表示されているかどうかの目安になります。

※ ☂ マークは、電波の受信に成功していても午前2時と午前3時になると一度消灯します。その後、電波の受信に成功すると再び点灯続します。

● 受信できなかった場合

→ 数分後に電波の受信を終了します(そのままの時刻で計時されます)。

→ 受信状態が不安定で、時刻や月日の一部が修正されることがあります(☂ マーク不灯)。

上記のような場合は「電波を受信しにくい場合」をご参照ください。

● 1～2週間電波受信の様子を見ます

電波受信は地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯(昼/夜)などによって変わります。

1～2週間様子を見ることをおすすめします。

「☂」マークが常に点灯している、または点灯している時が多い

→ そのまま、その場所でお使いになれます。

「☂」マークが全く点灯しない、またはときどきしか点灯しない

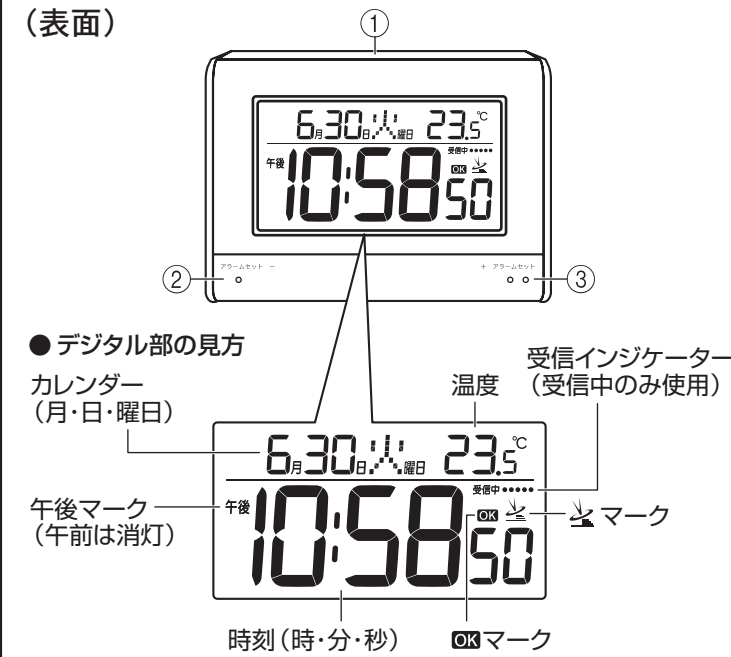
→ その場所では電波受信しにくいので、向きや場所を変えてください。

→ その場所で使用する場合にボタン操作で時刻を合わせてご使用ください(「電波を受信しにくい場合」参照)。

そして受信可能な別の場所できるとき電波受信を行なってください。

各部の名称と表示の見方

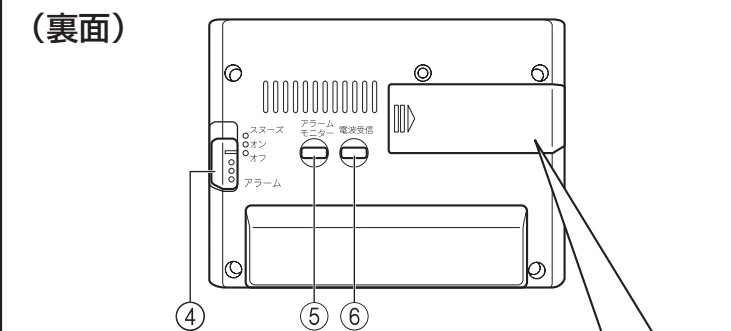
(表面)



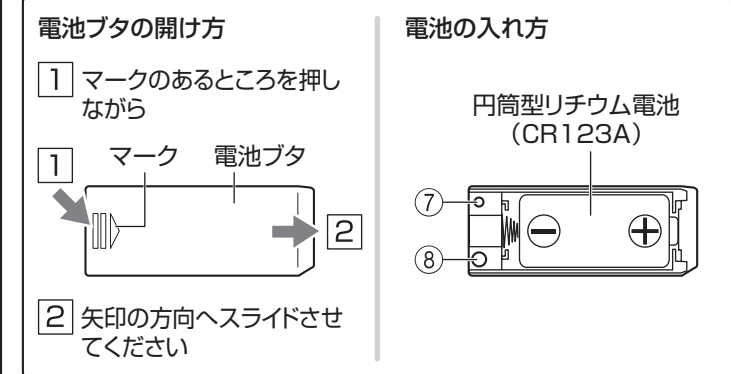
● デジタル部の見方

カレンダー(月・日・曜日) 温度(受信インジケータ(受信中のみ使用)) 午後マーク(午前は消灯) 時刻(時・分・秒) OK マーク

(裏面)



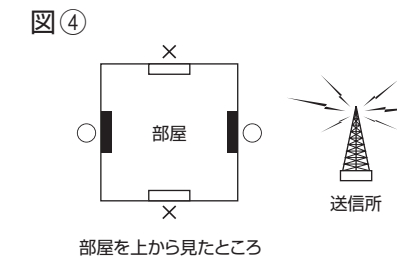
● 電池交換のしかた



- ① ボタン(スヌーズ/ライト) 押すと約5秒間ライトが点灯します。 ※ アラーム報音中に押すと音が止まります。
 - ② ボタン(-)、③ ボタン(+) アラーム時刻(または現在時刻など)を合わせるときに使用します。
 - ④ スイッチ(アラーム オフ オン スヌーズ) アラームのスヌーズ/オン/オフを設定するときに使用します。
 - ⑤ ボタン(アラームモニター) 押すとアラーム音を試しに聞くことができます。
 - ⑥ ボタン(電波受信) すぐに電波を受信したいときに使用します。
 - ⑦ ボタン(リセット) 電池交換後、必ず押します。 ※ リセット操作がしにくい場合は先端の細いもので押しください(製品を傷つけないようご注意ください)。
 - ⑧ ボタン(セット) 現在時刻などを合わせるときに使用します。
- ※ 図は操作説明用ですので、実際の製品とはデザインなどが異なることがあります。

電波を受信しにくい場合

● 電波を受信しにくい場合
電波受信は地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯(昼/夜)などによって変わります。
「使用場所について」および「正しく電波受信するために」もご参照の上、<電波受信の方法>を試して1～2週間様子を見てください。

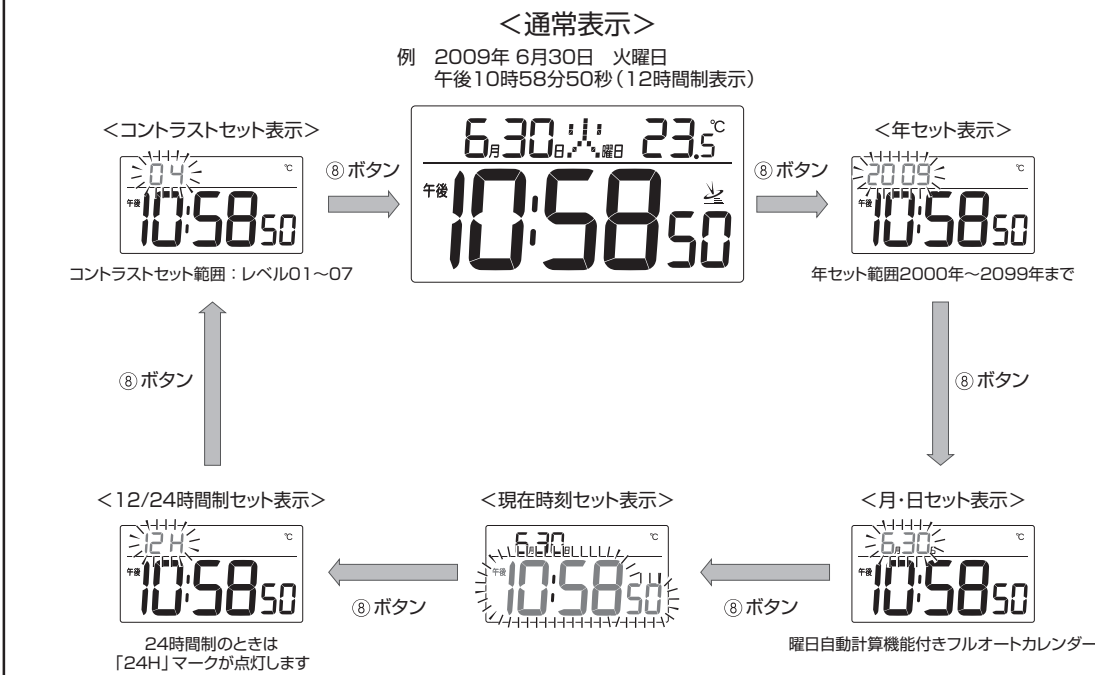


<電波受信の方法>
本機の向きや場所を変えて⑥ ボタンを押してください(再度、電波受信を行ないます)(図④)。

● 電波を受信しにくい状態がつづく場合
カレンダーや時刻等をボタン操作でセットして使用します(「各部の名称と表示の見方」も一緒にご参照ください)。

1 セット表示に切り替えます(⑧ボタンを使います)

⑧ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります(「各部の名称と表示の見方」参照)。
→ セットしたい表示に切り替えます(点滅箇所がセットできます)。



2 カレンダーや時刻等をセットします(⑧ボタン、②ボタンを使います)

点滅箇所のセットができます。
③ ボタンを押します・・・点滅箇所の数字が進みます。
② ボタンを押します・・・点滅箇所の数字が戻ります。

・ <12/24時間制セット表示><コントラストセット表示>以外で、それぞれ押し続けると早送り/戻しができます。
・ <現在時刻セット表示>のときにボタンを押して分を進めた(戻した)タイミングで00秒になります。

3 通常表示に戻します(⑧ボタンを使います)

⑧ ボタンを押して<通常表示>に戻します(「各部の名称と表示の見方」参照)。
→ 通常表示に戻ったときに点滅は終了します。
→ テレビや電話サービス等の時刻と照合してください。

※ セット表示で何も操作しないと、約3分後に自動的に<通常表示>に戻ります。

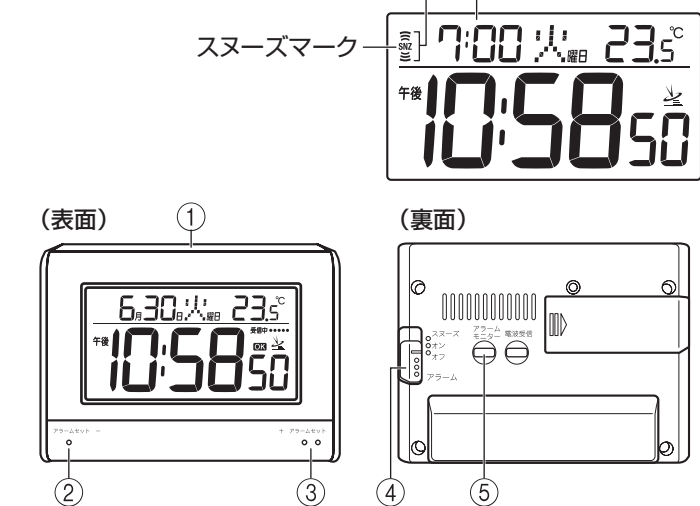
4 再度、電波受信を行ないます(⑥ボタンを使います)

⑥ ボタンを押して電波受信を行ないます(「各部の名称と表示の見方」参照)。
※ ボタン操作で現在時刻等を修正すると、以後24時間は自動受信を行ないません。ただし、この間に⑥ ボタンを押して電波受信を行なうと、通常の自動受信を行なうようになります。
※ 電波受信しにくい状態で使い続ける場合は、受信可能な別の場所できるとき電波受信を行なってください。

アラームの使い方

● アラーム機能
・ 毎日、同じ時刻にアラーム音を鳴らすことができます。
・ ④ スイッチの切り替えにより止めても繰り返し鳴るスヌーズアラームも選ぶことができます(図⑤参照)。

図⑤
● デジタル部の見方 アラームマーク アラーム時刻(時・分)



1 アラーム時刻を設定します(③ボタン、②ボタンを使います)

③ ボタンまたは② ボタンを1回押します。
● アラームがオフの場合・・・「カレンダー表示(月・日)」が「アラーム時刻セット表示」に切り替わります。
● アラームがオンまたはスヌーズの場合・・・「アラーム時刻表示」が「アラーム時刻セット表示」に切り替わります。

アラーム時刻セット表示中に再度
③ ボタンを押します・・・アラーム時刻が進みます。
② ボタンを押します・・・アラーム時刻が戻ります。

・ ボタン操作をしないと約5秒で「カレンダー表示(月・日)」または「アラーム時刻表示」に戻ります。
・ アラーム時刻セット表示に③ ボタンまたは② ボタンを押し続けると早送り/戻しができます。
※ 電波受信中に③ ボタンまたは② ボタンを押すと電波受信は中断されます。

2 スヌーズ/オン/オフを設定します(④スイッチを使います)

・ ④ スイッチの位置でアラームのスヌーズ/オン/オフが設定できます(図⑥)。

④ スイッチ	鳴り方
スヌーズ SNZ	アラーム時刻になるとアラーム音が1分間鳴ります。アラーム音は約5分おきに7回繰り返します。なお① ボタンで音を止めても再び鳴り出すスヌーズアラームです。 ※ スヌーズマーク(SNZ)が点滅しているときは、アラーム音が再び鳴ります(スヌーズアラーム機能中)。
オン	アラーム時刻になるとアラーム音が1分間鳴ります。
オフ	アラーム時刻になってもアラーム音は鳴りません。

※ アラーム音は1分間5段階でだんだん変化します。

・ アラームをスヌーズまたはオンに設定するとカレンダー表示(月・日)がアラーム時刻表示(時・分)に切り替わります。
オフに設定するとカレンダー表示(月・日)に戻ります(アラームは鳴りません)。

● 鳴っているアラーム音を止めるには
・ 鳴っているアラーム音を止めるには、① ボタンを押します(スヌーズアラームのときは再び鳴ります)。
・ スヌーズアラーム機能を解除するには、④ スイッチを「オフ」にします。

● アラーム音をためしに聞くには
⑥ ボタンを押すとアラーム音を聞くことができます。